京田辺尾根筋ハイキング･ロードの生物

光田　重幸

ようこそ、京田辺ハイキング･ロードへ

京阪奈丘陵の一角にあるこのハイキング道は、丘陵に見られる生物相全体を要約したような、手軽に楽しめるところです。コースも、登山口までの田園地帯、竹林、コナラやクヌギを中心とする雑木林、神社の社叢、棚田や溜め池、尾根の乾燥地と変化に富んでいます。

この地域の雑木林は、京都府のなかでも美しい景観が保たれている数少ないところとして、保護すべき植物社会に指定されています。また、棚田や溜め池の周辺には、数多くの京都府絶滅寸前種や危惧種が発見され、景観としてもすぐれたところです。

それぞれの場所ごとに、見所を御案内しましょう。

登山口までの田園地帯

普賢寺小学校にあるラクウショウ
地域の名木として親しまれている

車道のそばで鮮やかなノブドウの実
少しづつ色が変わり、ファンが多い

車道の端にある切通し付近では、数多くの樹木やつる草が、見やすく目の前

で観察できます。春から初夏にかけてのカマツカやミヤマガマズミの花。秋のノブドウ、スズメウリ、ミヤマガマズミの実。アキノキリンソウの花も残っています。よく見れば、キチジョウソウの赤い実を見つけることもできるでしょう。

スズメウリのかわいい実　♪♪♪

あざやかなミヤマガマズミの実

竹林

このコースでは、ハチクやモウソウチクなどのなじみ深い竹林と、ササ類に入るネザサやヤタケなどが見られます。ヤタケは節が盛り上がらず、中世から近世にかけて弓矢の矢に重宝されたため、その名があります。

アキザキヤツシロランの果実

ハタケシメジの群生が見られることもあります

竹林内には、特殊な植物やキノコが見られることがあります。このコースでも、無葉ランの一種であるアキザキヤツシロランや、枯れた竹の根茎を栄養源

とするハタケシメジなどが見られることがあります。一見すると単調ですが、注意深く観察すると面白いところです。

雑木林

下草がしげったコナラ･クヌギの林

コルク層が発達するアベマキの幹

コナラやクヌギを中心とする雑木林は､以前は薪炭林として重宝されました。いまも面積としてはかなり残っていますが、竹林に置き換わったり、下草がしげっているところも目立ちます。コルク層が発達するアベマキや、花と実が楽しいウワミズザクラ、京阪奈丘陵では珍しいハリギリなども見られます。

神社の社叢

笠上神社の珍樹ホルトノキ

神社の中庭に見られるコハナヤスリ

ハイキング･コース最高地点の近くにある笠上神社には、南方系の珍樹ホルトノキ（ポルトガルの樹という意味）や京都府絶滅危惧植物のコハナヤスリが生育しています。また、モミの大木が数本あり、大きな球果（松ぼっくり）が拾えることも。

棚田と希少生物

三府県境に見られる棚田　夏にはホタルも

ツリガネニンジンの花

希少植物メガルカヤ

このコースには、京阪奈丘陵に見られる棚田では随一といえるような「一級の棚田」があり、府下でもまれな生物が見られることがよくあります。以下に少し紹介しましょう。

メダカもよく残っています

カヤネズミの巣

超希少植物イトトリゲモ

なぞの淡水産紅藻類（早春）

セイヨウハシバミ

早春に目立つハタケゴケ（水田）